

国際ロータリー第2520地区岩手第1分区  
 盛岡東ロータリークラブ

Weekly Report No. 31 (通算2047回)

Home Page : <http://www.moriokahigashi-rc.com/>E-Mail : [jimukyoku@moriokahigashi-rc.com](mailto:jimukyoku@moriokahigashi-rc.com)

会長 工藤光機 / 幹事 瀧澤慶太郎  
 事務所 〒020-8501 盛岡市愛宕下1番10号  
 盛岡グランドホテル内  
 TEL 019-601-5390 / FAX 019-601-5391  
 例会場 盛岡グランドホテル  
 TEL 019-625-2111  
 例会日 毎週月曜日12:30 / 第3月曜日18:30  
 但し、第3月曜日は(18:30～)会場が変更になる場合があります。

## 会長挨拶 工藤光機

皆様、こんにちは。

本日も例会にご出席いただきまして、ありがとうございます。

一昨日はいちご狩りで、昨日は、会長エレクトラーニングセミナーでした。セミナーでは、原田次期代表幹事をはじめ多くの会員が会場準備などにご協力いただきました。本当にお疲れ様でした。今週は、地区大会もごさいますし、来月は地区研修・協議会も実施されます。

昨日は、風も強く、体感としてはまだ寒さを感じるころでもあり、寒暖差もあり体調を崩しやすくなります。栄養あるものを食べ、睡眠時間を確保して、一つ一つのイベントを大過なく実施できるようにしましょう。

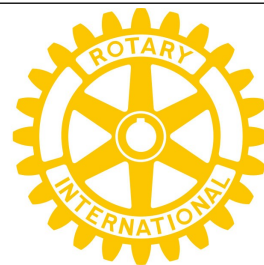
また、本日は、米山奨学生の崔様にご来場いただきました。心より歓迎いたします。

本日もよろしく願いいたします。

## 次回プログラム

4月17日(金) 地区大会 1日目  
 4月18日(土) 地区大会本会議  
 4月27日(月) 昼例会 卓話 本宿将大会員

Rotary



2025-2026年度テーマ

 よいことのために  
 手をとりあおう
Rotary 
 国際ロータリー会長 フランチェスコ・アレツツォ  
 第2520地区ガバナー 加藤雄彦(仙台RC)

## 昼例会

司会：菅野輝明  
 日時：2026.4.13(月) 12:30  
 会場：盛岡グランドホテル  
 ロータリーソング 我等の生業  
 ゲスト 2026-27 米山記念奨学生  
 崔 賢秀(チェ ヒョンス)さん



◇幹事報告 木村昭仁

盛岡いのちの電話広報146  
米山梅吉記念館 館報春号  
緑の羽根募金  
工藤千鶴さんへボランティア証明書

◇スマイルボックス 佐藤百合子

木村昭仁君  
桜を楽しんでいます！  
浦田秀夫君  
皆様ご苦労様です。  
柴田茂君  
PELSお疲れさまでした。  
本日も宜しくお祈りします!!  
原田誠章君  
崔賢秀さん いらっしゃいませ！  
PELSご参加ありがとうございました。  
菅野輝明君  
昨日はありがとうございました。  
佐藤百合子君  
本日も宜しくお祈り致します。

◇出席報告 菅野輝明

会員数25名 出席数25名 出席率100%  
メイクアップ  
4/11 米山奨学生・カンセラーオリエンテーション 高橋耕  
4/11 家族親睦会いちご狩り 会員参加  
4/12 会長エレクトセミナー 佐藤誠司 会員参加  
個人寄付金  
R財団 柴田茂 原田誠章 浦田秀夫  
ポリオ 柴田茂 原田誠章 浦田秀夫  
R米山 柴田茂 原田誠章

家族親睦会報告 会長 工藤光機

4月11日、八幡平市の花といちごのお店「彩花園」で家族親睦会が行われました。  
ビニールハウスで栽培された色とりどりのお花や様々な種類のいちごがあり「かおり野」「さがほのか」「紅ほっぺ」「おいCベリー」など種類が様々で、どれもおいしくいただきました。春の季節にふさわしい雰囲気となりました。参加されたお子様などは、葉っぱの中に隠れたいちごを見つけたときにはうれしいご様子でした。  
自然と会話も弾み、会員間で一層の親睦を深めることができました。ご参加いただいた会員の皆様、「彩花園」の皆様のご協力により無事に開催されましたこと感謝いたします。



卓話 工藤嘉 インディ商事株式会社

パチンコ参加人口30万人増 | レジャー白書2025  
アミューズメントジャパン2025年11月1日

日本生産性本部の余暇創研は10月31日、『レジャー白書2025』を発刊した。A4判・144ページの本書には、国民が2024年に参加したレジャー活動（5部門108種目）の実態を収録。25年2月に実施したインターネット調査では、15歳から79歳までの男女3467人から有効回答を得た。

プレス向けの概要説明会が10月28日、都内の会議室で開催された。長田亮・上席研究員は、余暇関連の市場規模（24年）が前年比5.6%増の75兆2030億円に上ったことを報告。コロナ禍前の19年（72兆3070億円）を4%上回った。

部門別に見ると、同9.9%増となった観光・行楽部門（12兆4160億円）が市場をけん引した。特に旅館やホテルが同15%前後伸長。国内観光旅行（避暑、避寒、温泉など）の参加人口は前年より60万人減ったが、全108種目の中で最多の4680万人だった。3年連続の首位。

参加人口が減ったものの市場規模が拡大した背景には、インバウンドによるものや、宿泊・観光施設による高付加価値施策がある。例えば宿泊施設では単価を上げる一方で、アーティストのライブ参加券を付与するプランを発売している。

ホール売上は2年連続で上昇

パチンコ・パチスロが含まれる娯楽部門の市場規模は、同5.3%増の50兆5310億円。パチンコ・パチスロの市場規模は16兆2000億円で、同3.2%増した。2年連続の増加。コロナ禍前の19年比は81%に留まる。

パチンコ参加者は690万人で、前年より30万人増加した。男女別に見ると、男性が13.6万人の減少、女性が43.6万人の増加。男性では30代と70代で参加人口が増えたが、その他の年代で減少した。女性では50代以外の各年代で増加した。

娯楽部門内で市場規模が前年から大きく伸長した種目は、スポーツ振興くじ（17.5%増）、競輪（12.9%増）、カラオケボックス（12.8%増）の順。部門に占める割合はいずれも3%未満だが、競輪の躍進は目覚ましい。競輪の市場規模は1兆2940億円（24年）。2013年（6090億円）から11年連続で拡大している。

市場規模の解説は、桜美林大学ビジネスマネジメント学群の下島康史教授と同・川崎友加准教授が担当した。日本生産性本部の余暇創研はインターネット調査で、回答者から「パチンコ」の参加状況を取得しているが、ホール企業からヒアリングしている下島教授は「パチンコ・パチスロ」として推計している。

下島教授らは、余暇関連市場における全般的な傾向について、物価高騰に伴う値上げと単価の上昇があると述べた。好調なレジャー種目の共通点としては、コロナ禍から伸長しているネット化・デジタル化したもの（コンテンツ配信、電子出版など）や、ライブ感のある体験価値（コンサートなど）、推し活に支えられるゲームやアニメなどのIPコンテンツを挙げた。

レジャー白書は1977年の創刊以来、今号で49冊目を数える。国民の余暇に対する重視度は年々高まっており、仕事と余暇を比べたときに余暇を重視する人の割合は過去最高の67.8%に上っている。

文＝アミューズメントジャパン編集部